

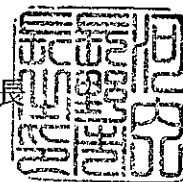


河長都道第 102 号

平成20年10月21日

国土交通省道路局長 殿

河内長野市長



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け、国道企第37号により依頼のあった標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

大阪府河内長野市

1. 道路特定財源制度の廃止に伴う、真に必要とする道路整備に対する更なる補助制度の確立を願いたい。
2. 必要とされる道路については、幹線的道路建設だけでなく、生活者の視点に立った生活道路の整備や老朽化した道路や橋梁等の整備について、柔軟に対応できる財源を確保されたい。
3. 道路の新設や改良にあたり地方の現状にあった構造を認め、道路構造令の適用について、道路管理者に一定の裁量を認めていただきたい。
4. 道路の維持、管理を行うため、老朽化に関する調査等基本的な指針を国において指示するとともに、修繕計画の作成や目標等を定めその実行について補助等の検討を
5. 道路整備に伴う、用地確保について境界立会拒否や地籍混乱等により多大な時間と労力を必要とすることから、用地取得に係る諸権利の整理を速やかに行えるシステムの構築をお願いしたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②ー１ 地域の現状と抱える課題

大阪府河内長野市

○ 現状

河内長野市は大阪府の南東部に位置し、東は奈良県、南は和歌山県に接し、両県より本市を通り堺市、大阪市に向かう車両の通行が多いが、幹線となる道路は国道３１０号及び国道３７１号しかなく、慢性的な交通混雑が生じている。

市内に高速道路がなく大阪市内から本市までに時間を要するなど、幹線道路は交通集中により渋滞する箇所が多い。

○ 課題

南北軸の幹線となり、和歌山県橋本市と堺市、大阪市に至る幹線道路が未整備であり、国道３７１号及び都市計画道路大阪河内長野線の早期整備が急務である。

東西軸となる大阪外環状線（国道１７０号）が一部暫定供用であり、暫定部の早期完成断面での改良が急務

国道３１０号が狭小であり、奈良県側へのアクセスとしては機能していないため、国道３１０号の早期整備が必要

堺市方面から本市に至る高速道路を整備し、時間的な短縮を行い、観光等、本市の経済の活性化を図る。

本市の将来像として「みんなで創ろう、潤いめぐる、緑と文化の輝くまち河内長野」として、「環境調和都市」、「共生共感都市」、「元気創造都市」、「安全安心都市」、「自律協働都市」の５つをまちづくりの目標としている。

市街地の活性化のため、市内主要３駅（河内長野、千代田、三日市町）周辺の整備を国道の整備と共に行い、土地の高度利用を図るとともに、高齢者等にやさしいまちとなるよう、道路のバリアフリー化を進め、まちの活性化を図る。

さらに、既存道路の整備を行い、災害に強いまちづくりを進め、だれもが安心して暮らせる「まちづくり」を推進する。

他地域との交流と連携を図るため、広域幹線道路の整備を進め、大阪南部地域における拠点性を高める。そのため、大阪外環状線の４車線化、国道３７１号バイパスの早期完成、国道３１０号の整備促進、都市計画道路大阪河内長野線の早期整備を目指す。

さらに、堺市方面から高速道路の南部延伸を図り、大阪市との交流をより利便よくし、本市の経済活動の活性化を図る。